

# 看護職員の負担軽減および処遇改善の取り組みについて

## 1. 看護職員の負担軽減および処遇改善に資する計画

項目	目標および具体的な取り組み計画
時間外労働時間の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理監督者でチーム編成を行い、就業前後の時間外になる要因を探求する</li> <li>管理監督者の時間外労働について前年度の5%削減を目指す</li> <li>平日に定時終業を制定する</li> </ul>
休暇の取得促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員との面接を通して有給休暇取得について意思確認を行う</li> <li>有給休暇消化についてのアンケート調査を実施する</li> <li>有休消化率100%を目指す</li> </ul>
補助職（医師事務作業補助者、看護補助者等）の配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者の食事時間帯に各病棟1名のアシスタントスタッフを採用 (例 7:30~9:00 11:00~13:00 17:00~19:00)</li> </ul>

## 2. 2022年度 看護職員負担軽減および処遇改善に資する取り組み事項

項目	取り組み事項
タスクシフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>各病棟に病棟アシスタントを配置し、介護職員の業務をシフトして業務分担を図った</li> </ul>
退院支援に伴う役割の明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>(看護師) 健康管理の指導を実施</li> <li>(介護福祉士) 患者・家族への退院指導について、パンフレットや動画を用いてわかりやすい説明を実施</li> </ul>
業務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>病棟にとろみサーバーを導入</li> </ul>
情報通信機器の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>インカムを導入し、患者の要望やスタッフコールに対する迅速な対応および職員間でタイムリーに情報共有・伝達できる体制を構築</li> <li>他部門との連携を強化</li> </ul>
専門職の増員	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯科衛生士を増員 病棟スタッフと連携を図り、専門職が口腔ケアを実施することで誤嚥性肺炎を予防し、栄養改善や摂食機能の向上を図った</li> </ul>